

The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2011年2月号 通巻26号 毎月1日発行 購読無料

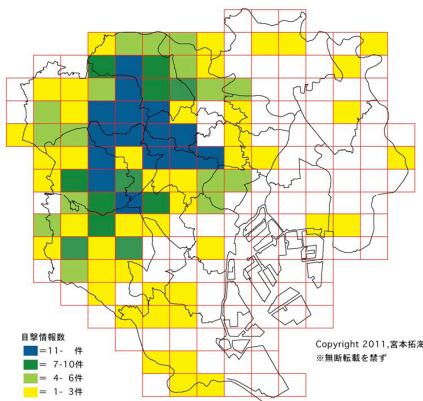
©MIYAMOTO Takumi,2011

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

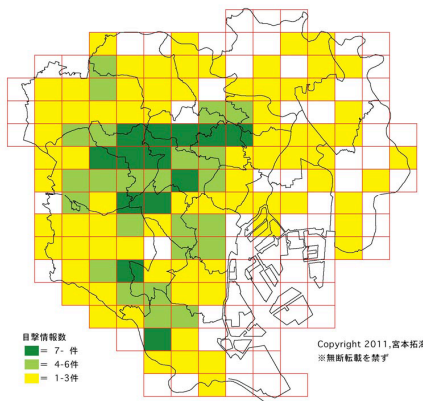
ハクビシンついに逆転？

目撃情報数がタヌキを上回る

東京都23区 タヌキ目撃分布図(2008年～2010年)



東京都23区 ハクビシン目撃分布図(2008年～2010年)



タヌキ(左)とハクビシンの(右)の目撃情報の分布。2008～2010年の集計。どちらも北西部に偏った分布だが、ハクビシンの方が広く薄く分布していることがわかる。ハクビシンの目撃件数も増え、昨年よりも分布を正確に表しているはずである。

毎年恒例のタヌキ報告書を1月に公開しました。もうお読みになったでしょうか？ 今回の報告書タイトルは「[東京都23区内のタヌキ、ハクビシン、アライグマの目撃情報の集計と分析\(2011年1月版\)](#)」。ホームページに掲載しています。昨年同様、3年間のタヌキ、ハクビシン、アライグマの目撃情報を集計し分析しています。

2010年もハクビシン続々

昨年の報告書での最大のトピックはタヌキではなくハクビシンでしたが、今年もやはりハクビシンの話をしなければなりません。2010年は、なんと、タヌキよりもハクビシンの方が目撃情報が多かったです。タヌキ137件、ハクビシン159件。ついにハクビシンが追い抜いてしまいました。私は東京都23区のタヌキの生息数を約1000頭と推測していますが、どうやらハクビシンも同じぐらい生息しているのはかなり確実なようです。

ハクビシンの目撃情報が順調に集まった結果、その統計の精度もかなり上がりました。生息分布図も以前より正確になったと言えるでしょう。今年もこの調子で情報が集まれば、さらに詳しい分析ができるようになるはずです。

目撃情報を分析すると、ハクビシンが樹上生活者だ、ということがよくわかります。もちろん都会の住宅地には森林はありません。しかし森林の代わりに電線があります。電線・電柱にハクビシンがいたという目撃例は約23%もあります。他にも屋根の上だったり、木の上だったり、塀の上だったり目撃されており、全体の半分以上はそういった高い場所にいるのです。森林が無くても、ハクビシンは住宅地をまるで森林のように見立てて行動しているのです。

もう一方のタヌキは明らかに地面で行動する動物です。高い場所での目撃はほぼありません。タヌキがイヌの仲間であることを考えれば当然の生態です。生活場所が重ならない

ようにすることによって、タヌキとハクビシンはうまくすみ分けているのかもしれませんが。

情報収集に終わりはない！

タヌキ、ハクビシン、アライグマなどの目撃情報の収集は今後も続きます。情報を5年、10年と蓄積することによって、時間的な変化が見えてくるようになるかもしれません。この調査研究は1回限りで終わってしまふものではありません。これからも都会に生きるタヌキたちを調査していきます。

今後も皆様からの目撃情報をお待ちしています。どうぞよろしくお願ひします。

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

東京都および周辺地域のタヌキ情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>